



今月は「ネパール」のためにお祈りください

ネパールは、南アジアの共和制国家。2008年に王制廃止。東、西、南の三方をインドに、北方を中国チベット自治区に接する西北から東南方向に細長い内陸国である。国土は世界最高地点エベレスト(サガルマータ)を含むヒマラヤ山脈および中央部丘陵地帯と、南部のタライ平原から成る。ヒマラヤ登山の玄関口としての役割を果たしている。

ネパールの経済・政治・宗教について

国民の3分の1が一日1US\$以下で生活している貧しい国である。農業を主たる産業としていて、ヒマラヤ観光などの観光業も盛んである。地理的に孤立した難しい地形はインフラ整備を難しくしており、森林伐採や頻発する自然災害が経済成長を鈍化させている。

2008年に王制が廃止されてから国は多政党によって導かれている。ネパールは植民地支配を受けず、1951年までは世界との関わりが少なかった。1962年から王が国を治めるようになった。しかし、1990年代や2000年代にはマオイスト(ネパール共産党統一毛沢東主義派)たちが王制を打破すべく内戦を続けていた。2008年からはマオイストの中心の党が力をもっている。

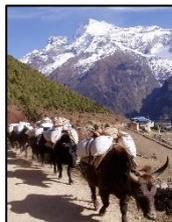
以前は世界唯一のヒンズー国家だった。現在は多民族・多言語国家(インド・アリア系の民族と、チベット・ミャンマー系民族)であり、民族とカーストが複雑に関係し合っている。また、宗教もヒンドゥー教(元国教)、仏教、アニミズム等、それらを組み合わせた宗教がある。

ネパールのその他の情報

面積:147,181 km²(日本の40%) 人口:29,852,682(日本の23%)



ネパールの子どもの様子



農作業の様子



ネパールの首都カトマンズの様子

宗教:	ヒンズー	75.01%
	仏教	16.00%
	イスラム教	4.40%
	キリスト教	2.85%
	その他	0.90%
	無宗教	0.75%
	シーク教	0.06%

「ああ、あなたが天を裂いて降りて来られると、山々は御前で揺れ動くでしょう。」

イザヤ書64章1節

祈禱課題

未伝部族や地域に福音が届くように

人口の約55%には福音が届いておらず、309の部族や民族はいまだ未伝である。特に社会に大きな影響力をもっているチェトリとブラーマン階級に属する人々のためにお祈りください。インドとの国境の民族、山岳地帯に暮らす人々、またチベットからの難民のためにお祈りください。

ネパール社会のために

労働人口の47%は働きたくても労働時間が十分に確保されていない。人口の3分の2が若者でこれらが働きざかりとなる。児童労働も多く、実に270万人の子どもがたちの70%が10時間の労働を強いられているという。ネパールは公には民主的国家であるものの、実際的にはヒンズーが支配している。宗教の自由は認められているものの、ヒンズー教徒以外は様々な困難を経験する。社会が公平になるように。

教会が社会を変えることができるように

次世代の教会が先代からの祝福を受け継いで成長し繁栄できるように。働き人たちが十分な支援を受けて、ヒンズーの支配の中にあって大胆に福音を宣べ伝えられるように。教会が霊的な必要とともに社会の実際的な必要を満たしつつ、宣教のための門が開かれていくように。

聖書の翻訳と配布のために

聖書の翻訳は続けられているが、識字力が問題となっている。テープやCDでの音声聖書も伝道のために多く用いられている。これらの働きによってみことばがネパール人たちに行き届くように。